

令和8年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 1年次

目標 基礎的な知識を定着させ、4技能を活用したコミュニケーション能力を養う。
身近な話題や問題にふれ、外国の文化に興味・関心を持ち、自ら学ぶ姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の基礎的な知識の理解を深め、その知識を、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによるコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて活用できる。	英語を用いた体験的な活動を通して、自分の考えを持ち、伝えたいことを簡単な言葉や表現で表そうとする。また、英語を使って伝えようとする姿勢や、相手の話を聞いて応じようとする態度を育てる。	自らの英語に対する学習状況を理解したうえで、主体的に外国語を学ぶ姿勢を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 北高検定 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	振り返りシート 提出物 特別課題

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Pre-Lesson1 Hello, Kai! Hi, Emma! Pre-Lesson2 I Love Manga! Lesson1 The Aurora 動詞の過去形 Lesson2 Soy Meat 現在進行形・過去進行形	新出単語や語句の確認する。 本文の解説をする。 文法を基礎から学ぶ。 文法の確認・演習を行う。 学習した内容を使ったパフォーマンステストを行う。 ALTとの会話形式の授業を行う。	VISTA English Communication I 自作プリント ユメタン単語帳 ICTを活用した教材
後期	Lesson 3 Capsule Toys 助動詞・動名詞 Lesson 4 Pictograms 動名詞		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

新出単語や文法を理解したうえで、学習した内容を活用して自分の意見や考えを外国語で表現し、伝えることが求められる。また、失敗を恐れることなく、外国語を使って積極的に、ALTをはじめ周囲とコミュニケーションをとろうとする姿勢が大切である。基礎的な英語の知識の定着を図り、話す・聞く・読む・書くの4技能を向上させる。

令和8年度 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 2年次

- 目標
- ・1年次での学びを基に英語を学ぼうとする態度を更に育成し、応用的な学力を養う
 - ・身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに、外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	コミュニケーションの中で、自分の考えや気持ちを整理し、既習の表現を組み合わせたり、少し表現を工夫しながらやり取りを広げることが重視する。「何をどのように伝えるか」を考えながら言語を活用する経	単元ごとの学びを自主的にさらに深めようとする姿勢がある。また主体的に外国語を使用し、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 北高検定 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	振り返りシート 提出物 特別課題

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson 5 We Are Part of Nature 不定詞 パフォーマンステスト（書くこと） Lesson 6 A Small, but Happy Country 現在完了形 パフォーマンステスト（発表）	新出単語や語句の確認する。 本文の解説をする。 応用的な文法を学ぶ。 文法の確認・演習を行う。 学習した内容を使ったパフォーマンステストを行う。 ALTとの会話形式の授業を行う。	VISTA English Communication I ユメタン単語帳 自作プリント ICTを活用した教材
後期	Lesson 7 AI and Sports Refereeing 受け身 パフォーマンステスト（話すこと） Lesson 8 Is There a Santa Claus? 関係代名詞 パフォーマンステスト（やり取り）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1年次に引き続き、英語を話す、書く、読む力を伸ばしていきます。長文の読解、文法の演習を通して、英語の基礎力を培うと共に、それらを活用して英作文や英会話などの表現力や発信力もバランスよく養っていきます。知識だけでなく、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和8年度 英語コミュニケーションⅡ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3 単位
		対象 部・年次	1・2部 3・4年次

目標 4技能をバランスよく取り入れ、英語を学ぼうとする態度を育成し、基礎的な学力を養う
身近な問題を取り上げ、知識を養うとともに外国に対して興味・関心を持つ

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題や、社会的な話題について、聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くことの4技能5領域を活用して理解することができる。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を使用、また学ぶ姿勢を身につけ、積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	提出物 自己評価 特別課題

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson1 World Dance Performances → want 人 to~の表現 → how to doの表現 Lesson2 A Piece of Cake → 間接疑問文、ifで始まる節 パフォーマンステスト（話すこと） Lesson3 Quokka → 使役動詞、知覚動詞 パフォーマンステスト（話すこと）	英文読解 応用文法の習得 問題演習 英作文 Speakingの練 パフォーマンステスト	VISTA English Communication II 自作プリント ユメタン単語帳
後期	Lesson4 Designing Stamps →形式主語、形式目的語it パフォーマンステスト（話すこと） Lesson5 Mont-Saint-Michel →現在完了進行形、過去完了形 パフォーマンステスト（話すこと） Lesson6 Smart Agriculture →過去完了受け身、助動詞受け身 Lesson7 Martial Art on Tatami →関係代名詞（非制限用法）、what ・パフォーマンステスト（話すこと）	本文の小テスト 単元テストの実施 自己評価シート	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1・2年次での英語の授業同様、英文理解を通して演習も交え学習します。また、英単語や文法の知識をさらに伸ばし、異なる文化や価値観についても学び、知識や教養を高めていくことを目標にしています。英作文や発表活動など発信型の活動も行うので、積極的に学び、コミュニケーションを取ろうとする前向きな姿勢を高く評価します。

令和8年度 論理・表現Ⅰ シラバス

科目	論理・表現Ⅰ	単位数	2単位
		対象部・年次	1・2・3部 3年次
目標	自分自身や身近なことについて表現（話す・書く）するために、教科書の本文や対話を基に、必要な語彙や文法を習得する。 英語で、興味があることについて発表したり簡単な料理の注文をしたりできるようになる		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常的な話題について書いたり話したりするために必要な知識や技能を、「聞くこと・話すこと（発表・やり取り）・読むこと・書くこと」の4技能5領域を活用して身につける。	提示された課題等に対して、情報を整理しながら自分の考えを英語で表現し、相手に伝えることができる。	教科書本文の学習を通して外国語の背景にある文化や日本の文化に対する理解を深めるとともに、主体的に英語を学び、学んだ英語を使って書いたり話したりしようとしている。
評価方法	定期考査 北高検定 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト （話す・書く）	特別課題、ワークシートの記入と提出、学習の振り返り（振り返りシート）

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	Lesson1 自己紹介【be動詞・一般動詞現在形】 Lesson2 学校生活【be動詞・一般動詞過去形】【現在進行形・過去進行形】	①前回の復習: Review ②リスニング (Q&A):Listening Activity ③役に立つ単語とフレーズ: ④役に立つ表現の練習: ⑤発表原稿作成: Writing ⑥文法の学習: Grammatical Exercise ⑦クラスで発表: Speaking	MY WAY Logic and Expression I プリント
後期	Lesson3 芸術【未来形・基本時制】 Lesson4 食べ物と文化【現在完了形】		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

教科書で学習する単元の本文や対話を参考に、同じ話題について、英語で論理的に表現する（書く・話す）ことを目標にして授業を受けましょう。単語や表現を練習した後、それらを使って発表原稿を書きます。書くときに使用した文法の問題演習の際は、正解を書き写す前に、必ず一度問題を解いてみましょう。スピーチ発表に備え、全体での音読練習と教科書の音声用QRコードを活用してください。

令和8年度 実用英会話 シラバス

科目	実用英会話	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 4年次
目標	日常生活でよく使うフレーズや表現、旅行先で使える会話など実用的な表現を習得することで、英語話者とのスムーズなコミュニケーションがとれる。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	様々な場面で使う単語・表現を習得している。これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけようとしている。	自国の文化と違う文化的背景を理解し、互いを尊重する気持ちをもって自分の考えを表現することができる。	ペアワークやグループワークで積極的に会話を楽しんでいる。海外の文化についてより深い知識をえようと努めている。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	特別課題 振り返り 提出物

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	自己紹介・他者紹介 感情の表現 学校での会話 休日の過ごし方 パフォーマンステスト（話すこと） 小テスト	自作プリントで新しい表現を学習する。 学習内容を使って、ALTとスピーキングテストを行う。 小テストで単語力をつける。 リスニング活動で聞く力を養う。	自作プリント ユメタン
後期	職業の名称 身体の名称 道案内での会話 電話の表現 衣服の表現 基本の文法 小テスト パフォーマンステスト（話すこと）		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

<p>場面に応じた適切な英単語・表現を使えるようになる。</p> <p>自国の文化と違う文化的背景を理解し、互いに尊重する気持ちをもつようになる。</p> <p>ペアワークやグループワークで積極的に会話を楽しんでいる。</p>

令和8年度 初級英会話 シラバス

科目	初級英会話	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2部全年次	／後期入学生
目標	日常生活の様々な場面で使用する基礎的な語彙や会話表現を身に付ける。 学んだ知識や表現を活用し、主体的にコミュニケーションを取ることができる。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活の様々な会話の場面に必要な語彙や表現などの基礎的な知識や技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合える。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
評価方法	定期考査	スピーキングテスト 定期考査	提出物（ワークシート完成） ふりかえりシート 特別課題

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	自己紹介と初対面の人との挨拶 学校生活 休日の過ごし方 カフェでの注文 服を買う	ウォームアップ活動 語彙・表現の確認 教員による実演 会話練習 ロールプレイ ふりかえり	ワークシート
後期	天気 職業と将来の夢 道案内 体の部位と病気の症状		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1つのテーマが1時間で完結することも多いため、何よりも大切なのは、授業に出席することです。単語や英文の音読練習のほか、カルタで単語を覚えたり、覚えたい表現を使ってペアで質問し合い、欲しい情報をワークシートに書き込む活動など、参加型の活動が中心です。評価は、定期考査、スピーキングテスト、ふりかえりシート、ワークシートの記入と提出によって行います。スピーキングテストの内容は、授業の復習ですが、事前に準備し、家でも練習しておくことが、高評価につながります。

令和8年度 ベーシックイングリッシュ シラバス

科目	ベーシック・イングリッシュ	単位数	1 単位
		対象 部・年次	1・2部 1～4年次
目標	基本的な英文法を理解し、状況や目的から判断して身の周りのことや自分の意見を表現できるようになることで、グローバル社会で生きるために必要な英語力の素地を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	基本的な文法の語順や構成を理解し、使い分けができる。また、基礎的な単語や各文法単元で必要となる動詞の活用を理解している。	場面や状況に応じて、自分自身について英語で分かりやすく伝えたり、身の周りのことを適切に表現したりすることができる。	グローバル社会に必要な素養を身に付けるため、計画的に学習できる。また、自分の学習方法を見直し、改善することができる。
評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト	特別課題 振り返り 提出物

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	現在形 過去形 進行形 長文問題 パフォーマンステスト（書くこと） 小テスト	ユメタン小テストで単語力をつける。 自作プリントで、文法の確認・演習を行う。 学習した内容を使ったパフォーマンステストを行う。	自作プリント ユメタン
後期	進行形 未来を表す表現 比較 長文問題 パフォーマンステスト（書くこと） 小テスト		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

基本的な文法の構造や訳し方を理解し、場面や時制に合わせて使い分けができるようにしておく。
各文法単元で必要となる、動詞の語形変化を理解し活用できるようにしておく。
学習した文法を用いて、自分の意見や身の周りのことを表現できるようにしておく。

令和8年度 英語基礎 シラバス

科目	英語基礎	単位数	2 単位
		対象 部・年次	3 部 全年次

目標 基礎的な文法事項を習得し、英文や英語の表現を理解する

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	文の構造を理解して、言葉の意味を理解し、文中でのその働きを知ること、全体の意味を理解する。	文の構造を理解して、適切な単語を用い、伝えたいことを伝えられる。	習得した文の構造や単語について、深く知りより多くを学ぼうとする。
評価方法	小テスト 定期考査	パフォーマンステスト 定期テスト	振り返り 特別課題、 授業への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	基本的な文法事項 (be動詞, 一般動詞等) 基本的な文章の構造理解	小テストで定着度をはかる。 プリントに沿って演習を行う。 パフォーマンステストを行う。	①自作プリント
後期	基本的な文法事項 (進行形, 不定詞等) 基本的な文章の作成		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

主に授業中のパフォーマンステスト、小テスト、定期テスト、授業への取組で評価する。さらに、習得した内容についての自己の振り返りも含まれる。